

令和4年9月8日

保護者様

令和4年度全国学力・学習状況調査の実施結果について（概要）

基山町立基山中学校
校長 高木 健

今年の4月19日(火)に全国の国・公・私立学校の小学校第6学年と中学校第3学年(原則として全児童生徒)を対象に、「令和4年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度分の調査結果の概要をまとめましたのでお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1. 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面、新型コロナウイルス感染症等に関する調査

【教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）】

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

3. 生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要

(1) 特に良い傾向が見られる主な項目

- ・「朝食を毎日食べていますか」90.4%(全国平均79.9%)
 - ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」92.0%(全国平均82.6%)
 - ・「友達と協力するのは楽しいと思いますか」71.2%(全国平均66.2%)
- 他にも、「人が困っているときは、進んで助けていますか」、「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしていますか」など、全国平均と比較して良い傾向がみられる項目がありました。

(2) 課題が見られる主な項目

- ・「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に対して2時間以上と答えた割合は18.4%(全国平均35.2%)
- 他にも、「将来の夢や目標を持っていますか」「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」など、全国平均と比較して課題がみられる項目もありました。

【生活習慣や学習環境等に関する調査の結果より】

「朝食を毎日食べている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」など、(1)の結果からは、各ご家庭で子どもたちを大切に見守られ、子どもたちも人間関係を大切にしながら健やかに成長していることが分かりました。

しかし、(2)のように課題がみられた項目もありました。学校では、子どもたちが自分の進路を思い描きながら、見通しをもって生活できるように、自主性を育む取組をこれまで以上に行っていきたいと思えます。

ご家庭でも、将来の生き方や時間の使い方についてお話をしていただけたらと思えます。

4. 教科（領域）ごとの調査結果の概要

教科に関する調査の結果〔正答数〕

	国語〔14問〕	数学〔14問〕	理科〔21問〕
基山中学校	9.9問	6.6問	11.0問
佐賀県	9.5問	6.5問	10.1問
全国	9.7問	7.2問	10.4問

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、全国平均よりやや高い。
- ・全国平均より「話すこと・聞くこと」は高く、「読むこと」はかなり高い結果となった。「書くこと」については課題が見られる。
- ・表現を工夫して話す問題は、無解答率が高く、課題が見られる。

(2) 数学の調査結果概要について

- ・数学全体については、全国平均よりやや低い。
- ・全国平均と「図形」「関数」の領域はほぼ同等であるが、「数と式」「データの活用」の領域については課題がみられる。
- ・記述式による問題形式には課題がみられる。

(3) 理科の調査結果概要について

- ・理科全体については、全国平均よりやや高い。
- ・「生命」を柱とする領域は、全国平均よりかなり高い結果となった。その他の領域も全国平均を上回っている。
- ・全体として、無解答率が低く、記述式による問題形式も正答率が高い。

【教科の調査結果より】

生徒たちは、国語、数学、理科ともにそれぞれの教科の勉強は大切だと考えています。授業で課題の解決に向けて自分で考え、自分から進んで取り組もうとする生徒も多いです。記述式の問題形式を苦手としているところもありますが、最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合は高かったです。今後、子どもたちのやる気を大切にしながら、一人一人のつまずきや苦手をしているところに寄り添い、よりよい教育を進めていきたいと考えています。

5. 基山中学校の学力向上の取組方針

- 新学習指導要領や新しい評価の研究をさらに進め、子どもたちの学力向上に努めます。
- 一人一台端末等の ICT を活用した学力向上のための取組を推進します。
- 子どもたちが自主的に学習に取り組み、互いの思いや考えを交流できる授業づくりをさらに進めます。

6. 保護者の皆様へ（ご家庭での協力をお願い）

右のグラフは、「1日に携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをする時間」と「各教科の正答率」を関連させたものです。1時間を境に SNS や動画視聴の時間が短い子どもが高い正答率になっています。各ご家庭で携帯電話やスマートフォンの使用時間についてルールを決めていただき、守っていくことが、子どもたちの生活のリズムづくりにつながります。学校でも自己管理の指導に、さらに力を入れていきます。



